

令和7年（1月～12月）の火災の概要

名取市の令和7年の火災件数は15件で、火災種別の内訳は、建物火災が9件、車両火災が2件、その他の火災が4件でした。火災による死者は建物火災で1人出ています。

火災種別での出火原因は件数の多い順に、建物火災9件については、「電気機器」4件、「ストーブ」2件、「たばこ」「配線器具」「その他」がそれぞれ1件となっています。

その他の火災4件については、「電灯・電話等の配線」「たばこ」「その他」「不明」がそれぞれ1件となっています。

車両火災2件については「たばこ」「不明」がそれぞれ1件となっています。

令和7年（1～12月）と令和6年（1～12月）の火災件数等の比較

	令和7年	令和6年
火災件数	15件	9件
建物火災	9件	6件
林野火災	0件	0件
車両火災	2件	1件
船舶火災	0件	0件
航空機火災	0件	0件
その他の火災	4件	2件
火災による死者	1人	0人
火災による負傷者	0人	3人
原因別出火件数		
放火	0件	1件
電気機器	4件	2件
配線器具	1件	0件
内燃機関	0件	1件
電灯・電話等の配線	1件	0件
ストーブ	2件	0件
たばこ	3件	0件
火入れ	0件	1件
その他	2件	2件
不明	2件	2件

空気が乾燥しています火災に注意しましょう！！

全国的に火災が多くなってきています。冬の寒い時期は空気が乾燥しており、通常よりも火災が発生しやすくなっています。そのため、普段よりも火災予防の意識を高く持たなければなりません。自分の家から火災を出さない、放火をされないためにも以下の点に注意し、火災を未然に防ぎましょう。

1. 家の周りには、燃えやすい物を置かない。
2. 寝たばこやタバコの投げ捨てはしない。
3. 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
4. 風の強いときは焚き火をしない。
5. 子供には、マッチやライターで遊ばせない。
6. 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
7. ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

急増！リチウムイオン電池製品の取扱いに要注意！！



近年、リチウムイオン電池を搭載した製品の火災が増えております。名取市においても令和7年中に2件発生しております。リチウムイオン電池使用製品の取扱いを誤ると、リチウムイオン電池の破損等により発熱・発火といった事故につながる危険性があります。危険性を常に意識するとともに、以下のようない点に注意しましょう。

1. 強い衝撃や圧力を加えないようにしましょう。
2. 高温になる場所では使用・保管しないようにしましょう。
3. 製造事業者が指定する充電器やバッテリーを使用し、充電は安全な場所で、なるべく起きている時に行いましょう。
4. 膨張、充電できない、バッテリーの減りが早くなったり、充電中に熱くなるなど異常を感じたら使用をやめ、製造事業者や販売店に相談する。
5. 発火した時はまず安全を確保し、大量の水で冷却しながら消火し、可能な限り水没させた状態で119番通報しましょう。